
目次

.....

【1】 --- 連載開始! 教員コラム第 20 弾 第 1 回

「広小路から未来へー図書館の新たな挑戦」

附属図書館長(法医学・医学生命倫理学)/池谷博

.....

【2】 --- <Koto Square の開設・運営に尽力した教職員一同>

法人功績表彰をいただきました

.....

【3】 --- [7/2(木), 7(火)] 本学向け UpToDate 講習会

.....

【4】 --- 2025 年インパクトファクターと CiteScore が発表されました

.....

【5】 --- 京都女子高校顕道コースの 1 年生に図書館の授業を実施しました

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 連載開始! 教員コラム第 20 弾 第 1 回

「広小路から未来へー図書館の新たな挑戦」

附属図書館長(法医学・医学生命倫理学)/池谷博

.....

京都府立医科大学の発祥の地である広小路キャンパスでは、近年、広小路プロジェクトが進められてきました。このプロジェクトは、単なる施設整備ではなく、本学の歴史と伝統を継承しながら、新たな価値を創造する取り組みであると私は考えています。

図書館長として私が常に意識してきたのは、「既存の図書館の概念を打ち破る」ことでした。電子化の進展により、情報は図書館に来なくても手に入る時代になりました。そのような中で、図書館が従来のままでは存在意義を失いかねません。図書館職員にも「このままではいけない」という危機感を共有してほしいと考え、改革を進めてきました。

まず、図書館を地域に開かれた場とするため、入口のゲートを撤去しました。また、キ

ッチンカーやシェアサイクル「LUUP」の導入を進めるとともに、医学分野に限らず、各界で活躍する著名人を招いた特別講演会を開催し、多くの府民の皆様が大学を身近に感じていただく機会を設けてきました。

学生や教職員のための環境整備も進めました。図書館内にはラーニングコモンズ「Koto Square」を設置し、看護学科には学生ラウンジを整備しました。さらに、セキュリティの強化、壁面やトイレの改修、全学へのIC学生証導入など、安心して学び研究できる環境づくりに取り組んできました。

研究支援も重要な課題でした。近年、国際誌への論文掲載料の高騰が研究者の大きな負担となっています。本学では電子ジャーナルの転換契約を導入し、研究者の論文掲載料負担の軽減を図ることで、研究成果の国際発信を支援してきました。図書館は資料を提供するだけでなく、研究活動そのものを支える基盤としての役割を担っています。

こうした取り組みの結果、図書館来館者数は以前の約4倍となりました。この数字は、図書館が単なる蔵書の保管場所ではなく、人が集い、学び、交流する場へと変化したことを示していると思います。

これらの取り組みは、図書館だけの力で実現できたものではありません。広小路プロジェクトの推進にあたり力強い支援をいただいた学長をはじめとする大学執行部のご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。また、本学の発展を願い、温かいご寄附をお寄せくださった多くの皆様のご支援なくしては実現できませんでした。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

これまでの数年間は、施設や設備といった「ハードウェア」の整備に力を注いできました。今後は、その基盤の上に立ち、「ソフトウェア」の充実を目指していきます。学生や研究者への支援をさらに発展させるとともに、学内外の交流を促進し、新たな知的価値を生み出す仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

広小路プロジェクトが示したように、歴史を守ることと未来を創ることは両立できます。図書館もまた、本学の伝統を大切にしながら、新しい時代の知の拠点として進化を続けていきます。

※今年度も先生方にご協力いただき、隔号にて＜教員コラム＞を連載予定です。第20弾は継続が決定した広小路キャンパス活性化プロジェクト、リーダーの図書館長と2025～2026年度の新任教授、図書館運営協議会委員の先生方にご執筆をお願いしています。これからもお楽しみに！（編集 担当より）
過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- ＜Koto Square の開設・運営に尽力した教職員一同＞

法人功績表彰をいただきました

.....

Koto Square の開設・運営に尽力した教職員一同に、京都府公立大学法人から令和 8 年度京都府公立大学法人教職員表彰（功績表彰）をいただきました。ありがとうございます。この賞は教職員一同が「学生と研究者等が共創し学びと交流を生み出す場として大学図書館の新たな可能性の創出に貢献し教育研究環境の充実に尽力した」と認めていただいたことによります。プロジェクトから池谷図書館長と大瀧主任司書、金嶋主事が出席しました。

これからも「Koto Square」が学びと交流の拠点となり、より多くの方に活用していただけるよう、アップデートを続けてまいります。

【3】 --- [7/2(木), 7(火)] 本学向け UpToDate 講習会

.....

臨床サポートツール『UpToDate』のオンライン説明会を、本学向けに開催します。

2026/7/2(木)16:30～

7/7(火)16:30～（同内容で全 2 回開催 30 分程度）

チラシは[こちら](#)

提供元 Wolters Kluwer の講師による UpToDate 説明会です。利用方法や機能、また学外から利用するための登録方法について 30 分程度で説明いただきます。

事前登録は不要ですので、お気軽にご参加ください。

【4】 --- 2025 年インパクトファクターと CiteScore が発表されました

.....

◆クラリベイト社が発行する [JCR\(Journal of Citation Reports\)2025](#) がリリースされ、[2025 年のジャーナルインパクトファクター値が最新版](#)となりました。

本年のリリースでは、ジャーナル・インパクトファクター（JIF）の分子を計算する際に、撤回された論文に対する引用と、撤回された論文からの引用を除外します。今年の引用情報は、[クラリベイトのページ](#)をご覧ください。

↓無料ウェブセミナーも開催されます。

「知らないで損をする！ジャーナル・インパクトファクター活用術 2026」

2025/7/6(月)14:00-14:40 要登録 要登録（後日録画版視聴可）

お申し込みはこちらから [Clarivate](#)

◆エルゼビア社が発行するデータベース [Scopus\(スコーパス\)](#)に、最新のジャーナル評価指標 [CiteScore](#) がアップロードされました。

・ CiteScore2025： あるジャーナルの4年分(2022-2025)に掲載された査読論文が、特定の年(2022-2025)において、平均で何回引用されているかを示す指標（毎年更新）

CiteScoreTracker 2026： 翌年の CiteScore が算出されるまで毎月更新

↓ SCOPUS はこんな指標も提供しています ↓

・ 論文ごとの被引用数と被引用文献

・ 著者ごとの文献数や被引用数、共著者

・ 所属機関ごとの分野別文献数、共著機関

・ SJR(Scimago Journal Rank)： 引用元のジャーナルの評判によって引用に重み付けした指標(平均=1)

・ SNIP (Source Normalized Impact per Paper)： 分野による引用のされやすさの違いを考慮して、被引用率を補正した指標(平均=1)

↓無料ウェブセミナーが開催されます。

「研究評価分析ツールとしての Scopus-CiteScore 2025 アップデートを中心にジャーナル評価指標を解説-」

2025/7/14(火)14:00-14:45 要登録（後日録画版視聴可）

お申し込みは[こちら](#)から

【5】 --- 京都女子高校顕道コースの1年生に図書館の授業を実施しました

.....

医療系の進学を目指す京都女子高校「顕道コース」の生徒の皆さん（40人）に、学術情報の入手についての授業を行いました。インターネット上にあふれる無料情報の危険性や、信頼のおける学術情報の見極めのコツなど、皆さん輝くまなざしで熱心に受講しておられました。京女OGの本学学生がKoto Squareへ覗きにきて先生方に挨拶する様子も微笑ましく、現役高校生達の本学受験へモチベーションにつながることを期待します。当日の様子が、[読売新聞オンライン](#)に掲載されました。[京都女子高校ホームページ](#)にも詳

しくレポートされています。

[Book Review]・・・編集後記にかえて

.....

クリストフェル・カールソン『暗殺の冬』（文春文庫 2026 年）

「禁断の”10 年に一度の傑作”の帯を付けた」という文春公式 X に釣られて購入。1988 年冬、首相が暗殺された同日にスウェーデン南西部の小さな町（村）で起きた悼ましい殺人事件を巡る 30 年に渡る物語。謎解きや伏線回収が主眼ではなく（その辺少し弱い気がする）、迷宮入りした事件がいかに関登場人物達の人生に取り返しのつかない影響を及ぼしたかが重厚な筆致で描かれる。太古から続くスウェーデンの深く暗い森、傾きつつある国家と登場人物達の心情が重なり合う。一読の価値ある一冊。(Y.S.)(宇治市中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4167925141>

.....

図書館メール News572 号 2026.6.25 発行（隔週木曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

（図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓）

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>

.....

（附属図書館メール News 担当 日詰千栄）